



令和8年度(2026年度)「くまもと学校防災月間～推進編～」

I 期間

(仮)令和8年(2026年)4月10日(金)から4月24日(金)までの2週間

II 主な取組内容例

～記憶の伝承～(推奨教材)

「学校防災教育指導の手引き」

「つなぐ～熊本の明日へ～」(小・中・特別支援学校)

1. 探究型避難訓練【STEP1 初級編】(担任等)

① 地域にちなんだリスクを知る。

ハザードマップで地域のリスクを児童生徒と確認。

② 自クラスのリスクを全体で共有する。

大規模災害時、余震・停電は起こりえる。

倒壊した校舎は日本には1つもない。

☒ 非構造部材の脆弱性について確認。【定期の安全点検実施】

・天井のずれ、ひび割れ、しみ等の異常。

・照明器具に変形、腐食等の異常。

・窓ガラスにひび割れ等の異常。

・教室の扉など、内部建具の変形、腐食、ガタつき等の異常。

・天吊りテレビ台の固定。

・テレビ・パソコン等の転倒・落下防止対策。

・キャスター付きテレビ台等移動・転倒防止策。

・書棚やロッカー等の取付け。

・棚の上の重量物。など

家族で

防災について

話し合う



(参考)ハザードマップ(防災情報くまもと)

2. 避難経路の確認・見直し(管理職・防災主任等)

渡り廊下の下は使用しないことを周知。

建物の接合部分(エクスパンションジョイント)。

強化ガラスになつてないガラス。

非構造部材。

必要に応じて

危機管理マニュアルの改善を!



(参考)文部科学省:学校施設の非構造部材の耐震化ガイドブック(改訂版)

地震による落下物や転倒物から子供たちを守るために ～耐震点検の実施～



©2010 熊本県くまモン